

高尾山報

令和7年6月号

北島三郎歌
若葉溢れる中、人々の声と祈りが境内を満たす

法の^{のり}水^{みず}茎^{くき}

大正大學講師 高橋秀城

(156)

ほう ほう 螢来い
あつちの水は苦いぞ
こつちの水は甘いぞ
ほう ほう 螢来い
お馴染み、童謡「ぼた
るこい」の歌い出しです。
幼い頃の思い出として、
皆でこの曲を歌いながら
沢辺を歩かれた方もい
らっしゃるのではないで
しょうか。梅雨の宵、晴れ
の蒸し暑さを涼みなが
ら、螢を捕まえる「螢
狩」は、古くから夏の風
物詩として親しまれてき

入り乱れて飛ぶ蛍の軌跡

ました。それは私にとつても、夏の夜の樂しく懐かしい思い出の一つとなつています。

「蚩」の語源については、「火垂る」「火照る」「星垂る」などが挙げられ、「火」や「星」といった光るものに關係していると言われています。入り乱れて飛ぶ光の軌跡が、滴る（垂れる）一瞬の輝きを放つのでしよう。

「火」（灯火）や「星」の明かりは、昔から死者の魂にも喻えられます。生き生きと揺れ動く光は、あの世へと旅立つた「亡き人の面影」のようでもあります、流れるいくつもの光の筋は、次から次へと降り注ぐ「活きた流れ星」のようにも感じられます。

ちなみに、この童謡「ほたるこい」には、続きの

歌詞があります。中には
「一見ではよく分からない
言葉も含まれています。」
天ちく
あがりしたれば
つんばくらに
さらわれべ
ここに見える「天ちく」
は「天竺」(空の高いと
ころ)。「つんばくら」は
東北地方を中心とする
方言で「燕」を意味する
そうです。「高いところ
に行つてしまうと、燕に
さらわれてしまうから、
こつちに来てほしい」と
いう気持ちで、蛭に届け
ているのでしょう。

私が住まいする栃木
県の自坊近くにも、一時
期よりも水が綺麗になつ
たからなのか、数年前
より蛭が飛ぶようになり
ました。「蛭の多く飛び
ちがひたる」(『枕草子』)
とまではいきませんが、
一つ二つの光に向かって
「こつちの水は甘いぞ」
と歌いかけてみるつもり
です。

さてこれまで、全国に
残る弘法大師空海(七

七四〇八三五）伝説を
考察する中で、お大師さ
まの和歌もいくつかが紹
介してきました。お大師
さまがお詠みになったと
される歌は、他にも残さ
れていることから、今回
はあらためて数首の詠を
取り上げてみたいと思ひ
ます。

ところで、お大師さまの和歌はどれほど伝わっているのでしょうか。例え「善通寺（真言宗善通寺派総本山）に所蔵される『弘法大師年譜』という写本を見てみると、お大師さまに關わる「文鏡秘府論」六卷、『性靈集』十卷、「和歌」「玉造小町」「書道」の五項目が挙げられています。「和歌」については、和歌も三十首ばかり残り

雪と氷の川が流れる山の水

悟り得て
 帰りて見れば
 古の
 迷ひといひし
 心なりけり

あし、とも
 よしともいかで
 いひはてん
 折り折り変る
 人の心を

と記されており、お大師さまの三十首ほどの伝承歌の存在とともに、三首の空海歌が挙げられています。ここには後の歌論に影響を与えた詩文作法書の編者として、また漢詩人・書家としての天分とともに、歌人としての才能が語られています。

三首のうち「雪といひ」の歌は、既に取り上げました（「法の水茎」150）。「雪・氷・水は別々のように見えても、もともとは同じもの」と詠われています。

二首目の「悟り得て」の歌には、「若し始覺を得れば還て本覺に同ず」という詞書が付されている

ます。「始覚」は「修行して迷いを捨て去り悟りを開いた状態」を表し、「本覚」は「人間にもとから備わっている仏の悟り」を意味します。「悟り得て」は「始覚」、「迷ひといひし心」は「本覚」に対応しているものとみられることから、この歌では「悟り」を得てから立ち返ってみると、それは遠く過ぎ去った日々、「迷い」と言っていた心と同じであったよ」として、悟った後の境地を説かれていらつしやるようです。

三首目の「あし」とも「の歌では、「悪し」と「善し」という言葉が詠み込まれています。「善し悪しをどのようにして言い切ることができるだろうか。その時その時に変化する心であるというのに」と詠まれています。

季節の移ろいのように日々心も変化する無常の世にあつて、善悪を二口に判断するのは難しいものです。あるいは「善悪不二」という仏教語も

ありますが、先ほどの「悟り得て」の歌にあった「迷いと悟り」のように、「善も悪」もお大師さまの眼からすれば別物ではないと映っていたのかもしれない。

さとりとは

さとりでさとり

さとりなり

さとりは

夢のさとりか

（拾遺風体集）

弘法大師

（覚りの世界とは、無心の境地で覚るのが真の覚りであり、意識して覚り得た覚りは夢のような覚りである）

こちらも既に取り上げた空海歌です（「法の水荃」139）。鎌倉期の私撰集『拾遺風体和歌集』に採られています。なぜか『弘法大師全集』の「和歌集」には収録されていないようです。前回も歌の内容について考察しましたが、今回はこの歌がどのように受け継がれていたのかという享受の一端を見てみたいと思います。

江戸初期の僧侶、鈴木正三（一五七九—一六五五）が著した仏教書『驢鞍橋』（万治三年（一六〇一）刊）に、

古歌に、「悟とは、悟らで悟る悟也。悟る悟は夢の悟ぞ」と有。誠に悟る悟はあぶないことぞ。我も悟らぬ悟がすきなり。法然などの念仏往生も、悟らぬ悟也。

（『驢鞍橋』（下）と見えます。正三が仏道修行の心構えを説く中で「さととりとは」（悟とは）の歌を引用しています。注目されるのは、歌が空海詠としてではなく「古歌に」として語られている点でしょう。この歌が当時から「古歌」として広まっていたのかは知る由もありませんが空海歌が法然上人（一二三三—一二一一）の「念仏往生」の教えにも通じるものとして取り上げられています。

さらに『一遍上人念仏安心鈔』（寛永頃（二六二

四（四五）成立（せいりつ）にも、この空海歌「さとりととは」が引かれており、
 此歌は念仏を往生と決定するを了とよめり、と説かれています。一遍上人（いっぺんしやうじん）（一二三九—一二八九）の念仏往生を表す歌として示されている他、「禅歌」（ぜんか）（禅の歌）として挙げられている書物も見られます（竹田黙雷述『黙雷禅話続』明治四十年（一九〇七））。

このように「さとりと

当山貫首宗智

佐藤貫首は真言宗智山派の宗務運営に関する協議を行うため、総本山智積院において開催された宗機顧問会に出席致しました。

当日は、午後一時に智積院に登嶺され、多くの僧侶による出迎えを受けられた後、会場である宸殿へと移動し、午後二時より宗機顧問会に臨まれました。

当山貫首宗機顧問会出席

四月二十五日(金)

佐藤貫首は真言宗智山派の宗務運営に関する協議を行うため、総本山智積院において開催された宗機顧問会に出席致しました。

当日は、午後一時に智積院に登嶺され、多くの僧侶による出迎えを受けられた後、会場である宸殿へと移動し、午後二時より宗機顧問会に臨まれました。

若葉萌え生命が溢れる

高尾山若葉まつり

四月十二日～五月十八日



高尾山上に大勢の方がお越しになりました



八王子芸妓衆による祝いの舞



不動院で野点が行われお茶が振る舞われた

高尾山では例年四月から五月にかけて、瑞々しい新緑の季節に、「高尾山若葉まつり」を開催しております。

本年は四月十二日から五月十八日までの期間にわたり開催され、清滝駅前特設ステージにおいて八王子車人形西川古柳座による三番叟、八王子芸妓衆による祝いの舞など様々な催しが披露されました。

また不動院では裏千家淡交会による風情あふれる「野点」が行われ、また「とんとんむかし語り部の会」による昔話の語りも行われるなど、多彩な催しが来山者を楽しませました。



八王子車人形西川小柳座による三番叟



語り部が八王子に伝わる昔話を紡ぐ

高尾山内八十八大師巡拝

五月十三日(火)

新緑がまぶしい季節、高尾山にて「八十八大師巡拝」が行われ、約四十名の方々が参加されました。参加者は先達の山伏と共に山内に点在するお大師様を巡りながら、お大師様との縁を深める巡拝を行いました。

巡拝は清滝周辺のお大師様から始まり、「慚愧懺悔 六根清浄」と掛け念仏を響かせながら急峻な琵琶滝道を徒歩練行し、道中では各所に祀られたお大師様の前で法薬を捧げました。

山上に到着後、大本堂にて御護摩修行に参列の後、精進料理をいただきながら心身を整え、引き続き一号路を下りながら道中の各お大師像を巡拝し、不動院へと向かいました。不動院到着後には、今回の巡拝の成満を御本尊様に奉告する献灯式が厳かに執り行われ、参加者一人ひとりが感謝と祈りを灯火に込めて手を合わせました。



山内各所のお大師様に手を合わせる



ご参加の皆様と先達の山伏

石倉分霊院例祭

四月二十九日(火)

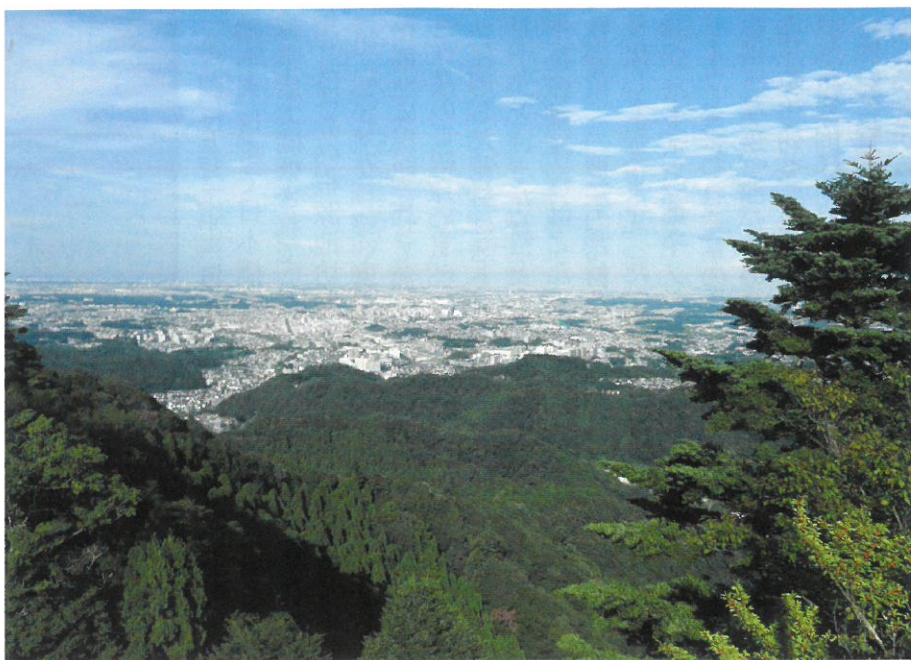


駒ヶ根分霊院例祭

五月三日(土)



金比羅台からの眺望



の辺りだろうか。竹村はかつて寛政七年（二七九五）に石永貞がよじ登った落合から金比羅台へ直登する道について「こなたに直路の細道あり、甚だ陰阻にして馬の背とも

言うべき所あり、左右深谷にて道幅わずかに三尺ばかりあり、されどこの道余程近しと言う」（高）と記すが、かつての表参道とも伝わるルートは難路として敬遠されるよう

になつていたようだ。道の左手には「峨々たる早瀬あり、岩にくだくる水音すまじ」（多）と、案内川は護岸に固められた現在とは異なり、溪流の風情があった。

竹村は「表口」にたどり着くと「御山さのみ高からず見ゆ」と評する。「山より山へ伝え行く故なり」と、尾根道をたどってゆく登山で、ピークを望み得るわけではないことを承知していたようだが、竹村にとっては初めての登山ではなかった。

『多波の土産』の作者は「之鳥居をくぐって表参道（現在の二号路）に入ってゆくが、竹村は鳥居左手に『びわの滝道』の標識を見てそちらに進む。両者の道行きが分かれるが、ともかく表参道の様子から先に見てゆこう。

鳥居の先は「雲突く如きの大樹おおいかさなり」（多）と大杉の並木があり、うつそうとした雰囲気だった。やがて「この所を七曲り」と言い、坂羊腸

として（高）という斜面に至る。絵図を見る限り、すでに当時は「羊腸」と言うより現在とほぼ同じ道筋が付いていたようだが、「二町ばかり至つて急に登る」（多）と、確かに一号路から右手脇に入つた先の金比羅台直下の道は登山道の趣はある。

金比羅台の絶景

現在の金比羅台は一号路からやや外れることもあつてか賑わう感もないが、かつては東方に開けた絶景で知られていた。絶壁の様子は誇張気味だが、竹村は挿絵を収録するとともに本文でも賛辞を惜しまない。

この所を物見の台といひ眺望筆墨の尽すべきにあらず、遠く日光・筑波より青根・小倉の諸山を望み、相模川白布を引くが如し、終日見るとも飽くべからず北は日光から筑波山、南へは相模原市緑区（山稜に至る大パノラマが展開する様子が目に浮かぶ。

この場所には江戸中期から茶屋があり、表参道を尾根筋まで登り切った参詣者にとっては格好の休息場所であった。竹村の同行者は「たる酒とり出し」「そこら尋ねあるきて初草取来り調して肴とす」と野草を摘まんでのしばしの小宴となる。竹村も「いと興あり」と書き記す。一方、『多波の土産』の作者にとつては「これまでの山にいと飽きて」「ただ足の疲れに心おもしろからず」と、急斜面の登攀は苦行だったようで、「よき景と云うたまでなり 秋深き」と詠んでいる。

註 石老山は神奈川県相模原市緑区にある標高七〇二メートルの山。山腹に真言宗顕教寺が所在する。山中に巨岩が点在する信仰の山。

《参考文献》『日野市史料集』続地誌編（九九二）おことわり 本連載では史料の引用について、適宜、読みやすく原文に手を加えています。

高尾山年代記

歴代山主の事跡をたどる

明治大学博物館 外山 徹

66

二十世岳純 二つの紀行文 1



金比羅台の景観（『高尾山石老山記』から 国立公文書館デジタルアーカイブ）

高尾山一九世山主秀観は文政六年（一八二二）十一月八日に隠居、翌日、岳純が二〇世山主を継いだ。九月初めの時点で秀観が病を得ていたことがわかっていたので、あらかじめ交代の手配が進められていたのだろう。

二冊の紀行文

岳純その人にまつわる逸話は乏しいが、この時期、高尾山が参詣行の行き先として知られた存在だったことは、文政一〇年（一八一七）の『高尾山石老山記』、翌年の『多波の土産』と、相次いで紀行文が著述されていることにも表れている。文政四年の新宿太宗寺の開帳こそ盛行ではなかったが、高尾山は江戸の人々の間に確実な認知を得ていた。

前者の著者竹村立義は縫製業を営む者だったが、日光や鹿島（茨城県）をはじめとするいくつかの紀行文を遺す人物である。一方、後者は江戸の

在住者で、俳句を嗜む人物による著作としかわかっていない。近い時期に著された二冊の紀行文は、以前に見た官撰の『新編武蔵風土記稿』、私撰の『武蔵名勝図会』といった地誌の客観的な記述とも異なり、当時の旅行者による高尾山に対する認識や、参詣の一挙手一投足がわかって興味深い。

両者は参詣の経路が異なるので最初に整理しておきたいが、竹村は現在の一号路入口を横切り、琵琶滝を見た後、引き返して表参道を登った。金比羅台を経由して薬王院境内に至り、宿坊に泊まっている。翌朝は次の目的地である石老山に向かうため、元の道には戻らず、山越えをしたとある。一方、『多波の土産』の作者は表参道を登って伽藍を参拝の後、現在の四天王門前から琵琶滝に降り、八王子宿へ戻っている。翌朝は日野宿方面へ引き返しているの、彼らの旅路は高尾山が実質的な

終点だった。以下、文中の引用文は『高尾山石老山記』（高）、『多波の土産』（多）と示す。

甲州道中から表口へ

八王子宿から甲州道中を西へ進んだ先、駒木野宿（八王子市裏高尾町）の手前にある集落は小名路宿（同西浅川町）と呼ばれ、宿屋や料理屋もあった。『多波の土産』の作者は花屋という店で小休止し、豆腐料理を絶賛している。その先の「左り高尾山道と石大棒杭」（多）とされる道標を目印に間道に入ると、小仏関所の迂回路となるため番所がある。「通り抜けをゆるさず」（高）と、規制はそれなりに厳重だったようだが、竹村は「高尾山参詣の由あい届け」、「多波の土産」の作者は番所近くの茶屋に笠を預け、知人のふりをして茶屋から高尾参詣と断りを入れてもらって通ったという。やがて、小流に架かる板橋は現在の上栲田橋

とんとんむかし、八王子の郊外では長閑に日々が流れ、農家の納屋では母豚が五匹の子豚に乳を飲ませていた。一ヶ月も過ぎると母豚の周りをちよちよと歩いてき戯れあっていた。

時に、昭和二十年（一九四五）八月二日の真夜中、空襲警報のサイレンがけたたましく鳴り響いた。母豚が東の空をみると、アメリカ軍のB29大型爆撃機が何機も飛来し、焼夷弾を雨霞の如く落としていた。

母豚は血相を変えて子豚に言った。

「みんな、良く聞きなさい！焼夷弾という危険爆弾がこっちに落ちてくるよ！ここにいたら危ないから逃げる算段をしなぐちや」

囲いは母豚の鼻をぶつ

けるとすぐに壊れた。

「さあ！逃げるんだ！遅れるんじゃないよ、いいね！」

豚の家族は母屋の裏にある藪へ足早に逃げ込んだが、既に人間が逃げ込んでいたようで話し声が聞こえたので、別の茂みを探したため、野菜畑に出ようとした。

その時だった、辺りが急に明るくなった。照明弾がフワリフワリ落ちてきたのだ。それを見ると母豚が声を荒げて言った。

「動くんじゃないよ！じつとして、じつとして」

そこへ戦闘機が急降下してきたが、銃撃しないで飛び去っていった。

戦闘機が行ってしまうと再び辺りは暗くなり、豚の家族は畑に出た。すると突然、焼夷弾が破裂、

と同時に母豚の悲鳴がした。母豚はその場に転がるように倒れた、不発の焼夷弾を踏んでしまったのだ。母豚の右前足は途中からなくなり、首の近くには爆弾の破片が突き刺さり血が噴き出していた。子豚たちは、

「母ちゃん、どうしたの！大丈夫！」

と声を掛けるが、母豚の息は徐々に細く小さくなつていく声で、

「お前達、早く母ちゃんの乳を吸っておいき、乳が出なくなったらお別れだよ」

「母ちゃん、こんなところでお別れしたくないよ！どうして！どうして！やだよ！」

息も絶え絶えの母豚は、

「お前達、空襲が終わったら人間達が助けに来てくれる。その時は人間が言うことをよく聞くんだよ！」

と言いつつ終わると静かに目を閉じた。今まで苦しい顔をしていたが、穏やかな顔に変わっていった。

子豚達は冷たくなつていく母豚の乳房から離れようとはしなかった。

八王子市内には、焼け野原の惨状だけが残されている。幸いなことに郊外であったためか飼主の母屋は無事で、納屋もぼや程度で済んでいたのだ。牛や鶏、犬も無事だった。ただ納屋が焼け落ちると判断した母豚は、子豚達を助けるため逃げだし、空襲の犠牲になつてしまったのだ。

夜が白々と明けてきた。ガラガラと荷車を引く飼主がやってきた。

「おお、お前達ここにいたのか、あれ！母ちゃん、豚が惨い姿に！南無南無、子豚達も不憫よのお」

飼主は涙を抑えながら子豚達に



穏やかな日々を過ごす母豚家族

とんとんむかしはへえしまい

「さあ、母ちゃんと一緒に納屋へ帰ろう」

母豚は納屋の裏の隅へ葬られた。

焼け野原から一年が過ぎた。子豚達は立派に成長し、雄は種豚に、雌は沢山子供を産んだという。母豚が亡くなった近くには誰か書いたか路傍の石に。

「争いは止めて下さい」と書かれていたそうじゃ。

いけばなの心 63

華道教授 佐藤 宗明

今回は五月二十一日（二十六日）まで日本橋三越本店で開催されていた『いけばなの根源池坊展「花いのちみらい」東京花展』に出展させて頂いた作品のご紹介です。

使用した花材はストレリチアという花材です。生花新風体はほとんどの場合、三種類の花材を使用して整えます。ただ、今回は大小の葉やノンリーフと言われる茎のみのような葉、曲がりのある茎の花など、色々な表情がある花材が手に入り、一種の花材で生花新風体として生けあげる事ができました。ひとつの花材に宿る多様な表情を見極め、活かす中に草木と向き合う時の尊さを感じました。

ストレリチアは極楽鳥花とも言い、鮮やかな花



花材…ストレリチア

弁は木々の間を飛び交う南国の鳥を思わせます。また、作品が載っている花台は、この春に大阪万博会場内で開催された池



坊展で使用した花席を再現したもので、透明な花台は作品に近未来的な雰囲気を与えてくれました。

高尾山天狗社開扉法要

五月十八日（日）



多摩湖一圏競技

十有五歳競族童

紺碧天下青湖風

狭山緑森心身癒

意外競賽成績中

湖の青

厚木市 荒井 一雄

木々の緑に鳥が鳴き、疲れ知らずのぐるり一周

多摩湖一周競争

高校一年生で初めて

長距離走に出場：

紺碧の空に

青き湖上を吹く風や

狭山丘陵の緑の森林が

心身の疲れを癒してくれ

思ひのほか一気に走り抜け

中位の順位となる：

観音菩薩の宗教

90

国際教養大学特任教授 金岡秀郎

如意輪観音（その28）

大方の予想や通念に反して日本には男女平等、時には女性優位の意識や社会があつた。前号までに筆者はその事例として平安貴族女性の如意輪信仰を挙げた。今後、仏教の男女平等思想や性別に関する思想を取り上げ、それが日本女性の活躍につながっていったことを明らかにする予定であるが、それに先立ち以下では仏教とは異なるキリスト教における男女観を瞥見したい。上に「大方」とした人々の通念では、キリスト教が「先進的な」男女平等や女権の根拠と捉えられがちだからである。しかし確実な資料に基づいて考察すると、仏教こそがブツダの時代より男女平等を説いてき

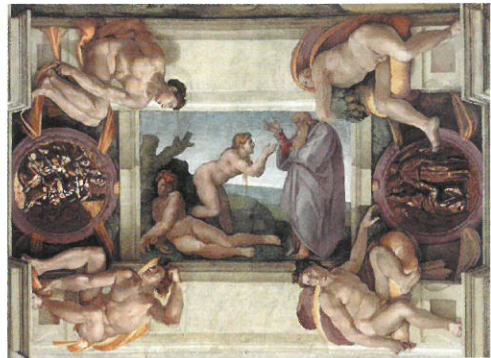
たことが判明する。その淵源はブツダの教えに求められ、ブツダ入滅後の部派仏教時代にインド伝来の男性優位の戒律が出るものの、大乘仏教ではブツダに回帰して男女平等の思想が明言された。他方、キリスト教は『聖書』においても、それに基づく制度においても女性の地位が極めて限定的であつた。以下では一旦、本題の菩薩論から逸れてキリスト教の男女観、女性観を見ることにする。

前号の原稿執筆中（二〇二五年五月八日）、新ローマ教皇レオ十四世が即位、世界中で大きく報道された。書店には教皇関連の書籍が平積みされ、1%未満しかキリスト教徒のいない日本でも、

一定の関心のあつたことが推測された。しかしカトリックにおいて教皇は男性に限られ、女性がなれるのは修道女（nun）までということとはほとんど報道されなかった。修道女とはキリスト教的な信仰生活を送る女性信徒であつて司祭（priest）すなわち聖職者ではない。聖職者となるには司祭より叙階（ordo）という秘跡（sacrament）を受けねばならず、それは男性のみが受けられる。いわば仏教でいう得度式である。かくて司祭の中から司教（bishop）が選ばれ、その中から大司教（archbishop）が選ばれて、さらにその中から教皇が選ばれる。したがって伝説的女性教皇ヨハナを除けば、レオ十四世にいたる二六七人の教皇はすべて男性であつた。将来もカトリックの思想や制度が根本から変わらない限り、女性の教皇が出現する可能性は皆無である。司祭は神父と呼ば

れフアーザーであるが、女性の司祭は存在しないからマザーはいないことになる。貧者救済などに生涯を捧げ、ノーベル平和賞を受賞したマザー・テレサも親しみを込めた敬称としてマザーと呼ばれるが、正式には修道女の地位に過ぎない。

女性が聖職者になれない理由について、教皇ヨハネ・パウロ二世は一九九四年の『使徒的書簡（Ordinatio Sacerdotalis）』の中で、教皇パウロ六世の言葉を引いて次のように明言している（http://www.vatican.va/content/john-paul-ii/en/apost_letters/1994/documents/hf_jp-ii_apl_19940522_ordinato-sacerdotalis.html）。「女性の叙階をめ



システリーナ礼拝堂の天井画に描かれた「イヴの創造」。ミケランジェロ画。1510年頃。「創世記」にある神がアダムの肋骨よりイヴを創造する場面

まれる』（と述べた）（英文より和訳）。さらにヨハネ・パウロ二世は聖書の諸説を引用し、キリストが使徒（Apostles）として十二人の男性のみを選んだことを根拠に、「教会には、女性に司祭叙階を授けるいかなる権限もない。そしてこの判断は、すべてのカトリック信者によつて最終的に保持されるべきものである」と結論づけている。本年（二〇二五）亡くなったフランシスコ教皇は進歩的とされたが、女性司祭の問題については伝統を変えることはなかった。それでは、歴代の教皇の発言の根拠となつた新旧の『聖書』は女性についてどのように述べているであろうか。

『旧約聖書』「創世記」の記述は、神（Yahweh）による人間の女性の創造を伝えている。「2:21 主なる神は人を深い眠りに落とされた。人が眠ったとき、彼のあばら骨の一つを取つて、そのあとを

肉でふさがれた。2:22 主なる神は、人から取つたあばら骨で女を造り、人のところへ連れてこられた」（新共同訳。以下同）。これによれば、女性とは人（＝男性）の身体の一部からできたことになる。同じく「創世記」には神が女に向かつて言うことが記されている。

「3:16 女に向かつて言われた。『わたしはあなたの産みの苦しみを大いに増す。あなたは苦しんで子を産む。それでもなおあなたは夫を慕い、彼はあなたを治めるであろう』。ここには女性が出産に苦しみ、なおも男性に従属すべきことが示されている。また、『旧約聖書』「レビ記」には「12:2 女が身重になり、男の子を産んだときは、その女は七日の間汚れる。その女は月のさわりの不浄の期間のように、汚れる」とあり、女性の出産や月経による穢れを述べ、のみならず女が女を産んだ時には一層穢れるとす

る。「12:5 もし、女の子を産めば、月のさわりのときと同じく、二週間汚れる。その女はさらに六十六日間、血のきよめのために、こもらなければならぬ」

『新約聖書』における使徒パウロから彼の協力者テモテへの手紙とされる「テモテへの第一の手紙」には、「2:11-12 女は静かにして、よく従う態度で教えを受けなさい。女が教えたり、男を支配したりすることを、わたしは許しません」とある。この一節はしばしばカトリックが女性司祭を認めない根拠とされてきた。同じくパウロらからコリント人へ送られた手紙には、「11:7-10 男は神の姿と栄光を映す者ですから、頭に物をかぶるべきではありません。しかし、女は男の栄光を映す者です。というのは、男が女から出て来たのではなく、女が男から出て来たのだし、男が女のために造られたのではなく、

女が男のために造られたのだからです」

『新訳聖書』「マタイによる福音書」には結婚・離婚・再婚に関する言葉があり、そこにも女性に不利な思想が読み取れる。「19:4-6 イエスはお答えになった。『あなたたちは読んだことがないのか。創造主は初めから人を男と女とお造りになった。』そして、こうも言われた。『それゆえ、人は父母を離れてその妻と結ばれ、二人は一体となる。だから、二人はもはや別々ではなく、一体である。従つて、神が結び合わせてくださったものを、人は離してはならぬ』。こうして結ばれたふたりが離婚すること、さらに再婚すれば姦通（adultery）と断ぜられる。」「5:32 しかし、わたしは言つておく。だれでも、みだらな行い以外の理由で妻を離婚する者は、妻に姦通を犯させることになる」。本来、姦通は夫

婦ともに適応されるべきだが、ここでは妻に不利。不名誉な定めである。

かかる思想や制度は時代遅れの「女性差別」であるとして種々の提言がなされており、カトリック系の教えを奉じる英国国教会（Anglican Church）は一九九四年に女性三人を司祭に叙任し、翌年には女性主教から誕生した。アメリカなどプロテスタントでは女性の聖職者もあり、カトリックの「女性差別」を批判する声もあるが（マアリ・デイリー著・岩田澄江訳『教会と第二の性』未来社、一九八一年）、少なくともこれまでヴァチカンの見解は変わっていない。フェミニズムなどの運動が欧米で発祥したことも、背後に宗教的理由があることはまちがいない。

以上、キリスト教の女性観が仏教とは大いに異なるので、今後の仏教との比較対象として述べてみた。

高尾山 季節散歩

和風月名

鳴神月

「なるかみづき」

旧暦六月は現在の七月六日頃から始まります。この時期は梅雨終盤の不安定な気候であり、雷が多く発生する月となります。「雷がなれば梅雨明けける」という言葉にありますように、雷鳴はやがて訪れる夏本番の気配を告げる合図となるでしょう。

今月の風物詩

鮎

鮎は、多くの地域で六月初旬に解禁されます。「香魚」とも呼ばれ、清流の香りをまとい、日本の初夏から夏にかけての風物詩として、親しまれてきました。特に「若鮎」の時期は、川魚ながら上品な味で、和食の旬を彩る一品として、多くの人に楽しまれています。

健康登山者投稿作品

季節の絵手紙

「立花の頃」

八王子市 南保 仁恵



登り来マ
上夏の風
と真ん中

「ムラサキツユクサ」

八王子市 栃谷 玲子



一步一步煩惱滅除

百八の階段を昇り、悩みや煩い事を取り除きましょう

四十一段 理屈は大切なものだけど柔軟さも大事

理屈を持つことは大切で、自分の理解や判断の土台になります。ただし、自分の考えに固執しすぎるのは注意が必要です。柔軟さを持てば、相手の意見にも耳を傾けられ、人間関係も円滑になります。大切なのは、そのバランスです。

『高尾山健康登山の証』のお勧め
年間約二百八十万人の人々が訪れ、「世界一登山者の多い山」として知られている高尾山。登山者の皆様の励みになれば、との思いから平成十一年から健康登山を始め、今では約五万人の方々に参加されており、期限はございませんので、御自分のペースでお楽しみ下さい。
また、一冊に付き二十一回スタンプを押すページがあり、終了したことを満行と言います。満行されますと、健康登山者限定の記念品と交換できます。



帳面……………七百元
スタンプ……………百円

おはなし散歩道

スケッチブック

町田市 大澤桃代

母は七十歳で逝った。その家は母の記憶通り坂の途中にあった。駅を降り、見当をつけて坂を上ってゆくと、あつてなかつたどおり着いた。

霧がたちこめている。

「中溝ルミ」さんは母の幼馴染で今もこの町に住んでいる。会葬者の名簿に名前があつたものの、誰も会つてないし、覚えてもいなかった。

母が故郷の話をしたなかつたのは、辛い事が多かったからだ。でも、ルミさんとの思い出だけは、楽しい話に話してくれた。門扉が開いて、庭が見えた。庭は広い梅林に続いている。ジーンズ姿の女性がいて、梅の実を摘んでいた。女性がふり向いて、怪訝そうに私を見た。わたしは川井鞠絵の娘だとな乗った。

「萌美さんですね、母から聞いています」
ルミさんは不在だという。突然訪ねたのだから仕方ない。
女性はカゴにいっぱい梅の実を庭の隅に置き、私を家の中へと誘う。
「すぐに帰ります。母の故郷を見たかっただけで」
本当の事だった。この町まで、電車で三時間かけて来ていた。
じゃあ、こちらで、と女性縁側に座布団を出し、お茶を持ってきた。お茶うけは「梅饅頭」、この町は梅が名産だ。たちこめる霧のおかげだろう。
女性は三十前だという。私の十歳下だ。家には、ルミさん夫婦と女性の三人住んでいるそうだ。
「鞠絵さんが町を出て、母は寂しかったようです。何年になるんでしょうね」

五十年、と私は答える。
あの白梅の下で、母とルミさんは毎日遊んだ。ままごと、縄跳び、木登り……ルミさんのお父さんは、二人のためにブランコを作った。ルミさんは両親に可愛がられていた。おかげで母は、この庭で遊び、お菓子を貰い、楽しい思い出を作った。母は庭の絵を、遊びの絵を描いたという。
「母と鞠絵さんは本当に仲良しでした。母はしっかりした鞠絵さんが好きで、同じ年なのにお姉さんのように慕っていたんですよ」
女性が遠い目をした。
「母の供養だと思って、聞いてください」私は母から聞いた話をする。
母は貧しい家の末っ子だった。兄が二人いたが、母の幼い時に家を出ていた。両親は職を転々としていたが、中学の時父親もいなくなってしまう。
「辛い事が多かったのです。母は東京に出たのです」
母は成績が良かったの



で短大に進学した。学費と生活費は奨学金とアルバイトで賄ったという。就職した年に、母親とも連絡が取れなくなり、天涯孤独になった。
「もし、ルミさんがいなかったら、悲しいだけの故郷でした。感謝していただ、伝えてください」
私は女性に頭を下げる。母は父と結婚した。それから父は幸せだった、と父と私に感謝していた。
そうだと、女性が立ちあがり、古いスケッチブックを持ってきた。
「これは、鞠絵さんのスケッチブックです。萌美さんが持つていてください」
パラパラめくってみる

と、幼い頃から高校生くらいまでの、庭の絵があつた。白梅の花や、ブランコを描いたものもある。
「でも、ルミさんに……」
と、言いかけたとたん、辺りに霧がたちこめた。
霧はどんどん深くなる。気がつく、わたしは広い梅林の中に、ポツンと座っていた。母のスケッチブックを抱えて。
通りかかった人に聞くと、中溝さんの家は四十年前も前に火事になり、一家が亡くなったそうだ。ルミさんと夫、離婚した娘さんが犠牲になったそうだ。この梅林だけが残されたという。
(挿し絵・小出 茂)

高尾山子供やまぶし修行体験会

高尾山に古来より伝わる、やまぶし修行を体験してみませんか？
山に広がる大自然の中で、やまぶしと共に滝に入り、山歩きをして困難や試練に耐える強い心を鍛えてみましょう。
夏休みの思い出作りとしても、是非ご参加下さい。

日程 令和七年八月三日(日)
集合場所 高尾山麓不動院 午前八時集合
参加費 五千円
対象者 小学生(一年生～六年生)
定員 五十名(定員になり次第受付終了)
行程 出発(不動院)→滝修行(琵琶滝)→山歩き(自然研究路)→食事→腕輪念珠作り→御護摩修行参加(大本堂)→下山(ケーブルカー使用)→閉会式(不動院)→解散(十五時四十五分頃)
申込方法 左記QRコードより受付期間内にお申込み下さい。
受付期間 六月二十七日(金)九時から
七月二十五日(金)十五時まで



※受付が完了しましたら子供やまぶし受付確認メール【自動配信】を送信します。
子供やまぶし受付確認メールに要綱(持ち物、服装等記載)・行程表を添付致しますので必ずご確認ください。



不明な点は、子供やまぶし修行体験会係までお問合せ下さい。

電話 〇四二一六六六一二二五

薬王院インスタグラム紹介

薬王院では、インスタグラムを用いて各種行事や四季が移ろいゆく風景を、写真や動画で御信徒様にお届けしております。
これからの様々な写真や動画を沢山アップしていきますので是非ともフォローをお願いします。

下記のQRコードかURLから検索ができます。



TAKAOSAN_YAKUOIN

instagram.com/takaosan_yakuoin/

郵送御護摩申し込み受付について

高尾山では大本堂に於いて、毎日御護摩修行を行っております。遠方の御信徒や、参拝できない御信徒の皆様の為に、御護摩札の郵送をお受けしております。
手紙、FAX等での申し込みをお願いしておりますが、「高尾山薬王院公式ホームページ」内の御護摩祈禱の御案内からインターネットにて、直接お申し込み頂くことが出来ますので、是非ご利用頂きますようお願い申し上げます。

お問い合わせ先 〇四二一六六六一二二五
「郵送御護摩係」まで

御護摩修行のすすめ

皆様の諸願成就を祈願する

高尾山では大本堂に於いて、毎日御護摩修行をお勤めしております。
御護摩修行とは、護摩木という特別な薪を大導師が御護摩の炎の中に投入し、あらゆる煩悩を焼き浄めるために行われます。そして、御信徒の皆様の祈りが御本尊様に届けられ、皆様の諸願が成就するという修行であります。
御護摩修行を行った方には、御護摩札が授与されます。
大切にお持ち帰り頂き、御供物と共に清浄な場所に奉安礼拝して、一心に御宝号「南無飯縄大権現」とお唱え下さい。



御朱印のご案内
御朱印とは本来、心願成就を祈り書き写した経文(般若心経・観音経等)を、御本尊様の宝前にお納めし、その祈願を込めた印として頂いたものです。
現在は神社仏閣への参拝の証として、御朱印を頂く場合が多いようです。
高尾山は霊山として、又、多摩新四国第六十八番、関東三十六不動尊第八番の霊場の札所としてもその名を知られており、季節限定の御朱印など、様々用意しております。
尚、御朱印は御本尊様の御分身に当る宝印であります。大切に護持頂きまして、益々御本尊様のご利益に浴せられますよう心よりお祈り申し上げます。

高尾山薬王院の御護摩札

交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)
交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全 (ステッカー) (車内用札)	交通安全				

中興開山六百五十年記念 特別御朱印授与の御案内



特別御朱印

授与期間 年内予定
授与所 御護摩受付所
授与額 2,000円

本年は中興開山の祖である俊源大徳が高尾山を再興された
永和年間より数えて、六百五十年という大きな節目に当たり
ます。この勝縁を記念して御護摩受付所において「特別御朱
印」を授与致します。

この御朱印は御本尊飯縄大権現様と、高尾山を中興された
俊源大徳をモチーフとした、力強い切絵が施されており、
御来山の折にぜひお求め下さい。

雨の日限定 「水分詣」御朱印紙の御案内

高尾山御本尊
飯縄大権現様の
五相合体の内の
一尊である弁財
天様は、薬王院
境内の奥、有喜
閣裏手にある弁
天洞の最奥に鎮
座し、そこから
湧き出る浄水は、
弁財天様の尊い
功德として御参
詣の人々に崇め
られております。
「風雨順次」とは、
季節が季節通り
に巡ることを表す言葉で、ほどほどに風が吹き、雨
が降ることによって人々の生活は成り立ち、「五穀豊穡」
『万民法楽』へと繋がります。

この御朱印は生きとし生けるものの全ての生命の根
源である雨が、お山に降り注ぐ時のみお授けいたし
ます。古来より水を尊ぶ信仰「水分詣」の対象で
ある弁財天様に、風雨順次をご祈願ください。

高尾山 薬王院
御護摩受付所
八時半から十六時まで

※雨天当日（予報も含む）のみ授与いたします。

高尾山中興開山 六百五十年記念 京都巡拝のご案内

令和7年9月17日(水)～9月19日(金)

行程	※行程は変更となる場合がございます。
9月17日 (水)	新横浜駅[11:00頃発]ー(新幹線) ー京都駅[13:00頃着]ー(バス)ー東寺参拝ー(バス) ー智積院参拝ー(バス)ーホテル《夕食・宿泊》
9月18日 (木)	ホテル[8:30発]ー(バス)ー醍醐寺入りー昼食 ー醍醐寺内拝観ー柴燈護摩参列ー(バス)ーホテル ー(バス)ー懇親会ー(徒歩)ーホテル
9月19日 (金)	ホテル[8:30発]ー(バス)ー狸谷不動院お護摩・境内 案内ー(バス)ー京都駅付近自由行動[12:00頃] ー京都駅[13:30頃発]ー(新幹線) ー新横浜駅[15:30頃着]

問い合わせ先・巡拝企画・主催

大本山 高尾山薬王院

「高尾山中興開山六百五十年記念京都巡拝」係
担当 秀峰会事務局 電話 042-661-1115

令和七年は高尾山中興開山六百
五十年に正當する記念節目の年です。
このご勝縁にあたり高尾山薬王
院では、当山貫首佐藤秀仁大先達
のもと、真言宗総本山東寺、総本
山智積院、総本山醍醐寺、大本山
狸谷山不動院への巡拝を開催いたし
ます。

本巡拝は、高尾山と深いご縁を
持つ寺院を巡る、貴重な仏縁の機会
でございます。どうぞ皆さまのご参
加を心よりお待ちしております。

申込期日 令和七年六月十八日(水)～
七月十六日(水)(必着)

参加費 十五万円
※支払い方法は申込後お知らせ致します。

定員 4名
※定員になり次第締め切ります。
ホームページでご確認下さい。

集合 新横浜駅

※佐藤貫首が同行するのは一部の行程です。
※高尾山慶賛会ならびに高尾山秀峰会の会員の皆
様も本巡拝に同行いたします。
※申込受付後、順次詳細を発送致します。

お申込みについて

申込方法は左記のQRコードから
お申込みのようになります。

※QRコードからの申込みができな
い方は事務局へご連絡下さい。
お申込み後にキャンセルされる場合
には、時期により取消料金が発生
いたしますのでご連絡願います。

ご相談等のある方は時間内(九時
～十六時迄)に
ご連絡下さい。



厄年を過ぎた
御信徒の皆様へ

六十才の厄年を過ぎたなら
一年・一年を
七十才を過ぎたなら
暑さ、寒さを
八十才を過ぎたなら
春夏秋冬を
九十才を過ぎたなら
一日・一日を
気を付けられ
日々を大切に
圓滿にお暮し下さい

当山では皆様の
(身体健全
寿命長久)を祈念して
福壽圓滿の
御護摩を
お申し受け致しております。

「第四十三回 高尾山写経大会」

開催のお知らせ

毎年恒例の高尾山写経大会を開催致します。希望される方には昼食をご用意致しますので、お申込みの際にあらかじめご予約願います。

当日高尾山にお越し頂けない方も、事前にご自宅で写経を行ってご参加頂けます。ご希望の方には写経の作法や心得を記した「写経の手引き」および写経用紙一式をお送り致しますので、ご自宅での写経後、当山までご送付下さい。

お納め頂きました写経は、御本尊様御宝前に奉安致します。それから当山僧侶により諸願成就をご祈念申し上げます。

開催日 七月二十七日(日) 午前九時集合

会場 高尾山薬王院大本坊

参加費 二千元(高尾山上・在宅共通)

食事代 二千二百円 ※要事前予約

定員 百二十名

※上限に達し次第締め切ります

※在宅参加の方に定員はございません

山上写経申込締切 七月二十五日(金) 必着

在宅写経申込締切 七月十八日(金) 必着

※在宅参加の方の参加費につきましては、送付物一式に払込取扱票を同封致しますので、郵便局にてお支払い願います。

申込方法

ハガキで申し込む

ハガキには郵便番号、住所、氏名、電話番号・高尾山上での写経か在宅写経・食事の有無を明記の上、左記までお申込み下さい。

〒一九三・八六八六

八王子市高尾町二二七七

高尾山写経大会係

インターネットから申し込む

下記QRコードを御利用下さい。



<ハガキ裏の記入事項>

住所

氏名

電話番号

山上希望 又は 在宅希望

精進料理希望
(希望者のみ)

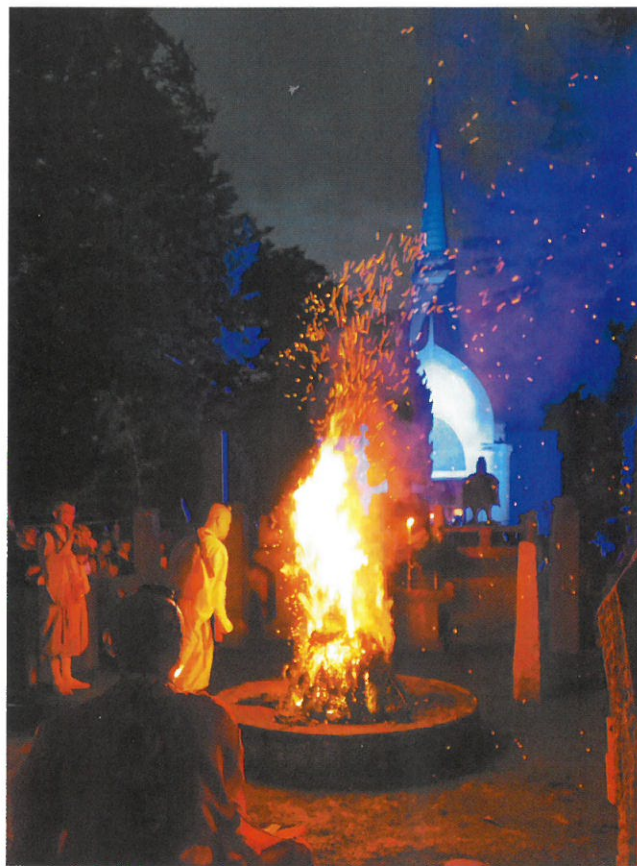
高尾山報助成金志納者 御芳名(順不同・敬称略)		相模原市 比留間 榮子
相模原市 高橋 晃	八王子市 角田 光一郎	
八王子市 鶴野澤 信之	〃 福島 元行	
銚子市 伊藤 雅一	世田谷区 水田 文敏	
松本市 小林 幸平	東筑摩郡 竹内 政男	
八王子市 落合 義晴	新座市 杉山 粧麗	
目黒区 小柳 宏和	さいたま市 菊地 知恵子	
あきる野市 南波 和子	調布市 宇田川 仁	
東大和市 中川 彰久	秩父市 山本 和雄	
八王子市 野澤 トモ江	小平市 関 道雄	
横浜市 高橋 洋子	足立区 中山 恵司	
陸前高田市 小林 信雄	茅ヶ崎市 椎野 佳子	
高知市 坂本 敬子	行田市 松本 恵美子	
杉並区 清水 佐	〃 杉田 と志よ	
杉並区 成瀬 旅館	新潟市 金子 憲子	
川越市 本堂 啓司	川崎市 契里 美智子	
渋谷区 水村 藤雄	日野市 池田 久恵	
渋谷区 金子 玲	熊谷市 藤田 妙子	
八王子市 石坂 和夫	富士宮市 沖山 靖子	
	高尾山健康登山者 一同	

夏の高尾山 清涼体感めぐり 灯りの巡礼

八月二十三日(土)

真夏の高尾山では「灯りの巡礼」と称し、本年は八月二十三日に夕暮れ時から参道に並び立つ春日燈籠に灯りが点されます。また有喜苑では、世の平穏を願い希望の光を届けるため、仏舎利奉安塔を青く照らし出す「ブルーライトアップ」を行い、御信徒の皆様から御奉納頂きました紙燈籠を献灯致します。

同日には夕闇に包まれる有喜苑において、柴燈大護摩供を厳修し、御信徒の皆様の上安全、身体健全など諸願成就を一心に御祈念致します。



青く照らされる仏舎利塔の前で柴燈大護摩供が厳修される

紙燈籠奉納のご案内

高尾山で行われる「灯りの巡礼」にて、本年も八月二十三日に紙燈籠を献灯させて頂きます。皆様各々の願いを込めながら、ご一緒に境内に祈りの光を灯してはいかがでしょうか。

紙燈籠には奉納者名と願い事を記し、諸願成就を御祈念致します。奉納を御希望の方は、QRコード又はFAXにてお申込み下さい。ご不明な点等ございましたらお問い合わせ願います。

紙燈籠 二千元

特別紙燈籠 一万円

※特別紙燈籠をお申込みの方には柴燈大護摩供の際、お名前を読み上げ致します。

お申込み方法

左記QRコードより締め切りまでにお申し込み下さい。

ハガキやFAX等でもお申込み頂けますので、ご希望の方は信徒課までお問合わせ願います。

Tel〇四二六六・二二五

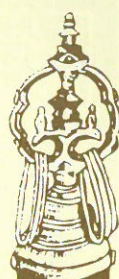
締切り
八月十五日(金)



紙燈籠



特別紙燈籠



登山だより

七月行事日程

一日〜七日

聖天秘供(聖天堂)

十一日、二十三日

弁天秘供

八日

仏舍利詣り(仏舍利塔)

十二日

お施餓鬼大法要

八日、二十二日

御詠歌勉強会

(十時山麓不動院)

二十一日

飯縄様御縁日

神徳報謝百味飲食供

(九時大本堂)

二十七日

高尾山写経大会

二十八日

奥の院開扉供養

(十時奥之院)

三十日

高尾山とんとんむかし

「語り部の会」

(十二時半山麓不動院)

☆神徳報謝百味飲食供

高尾山御本尊飯縄大権

現様の日々の御加護に感謝

し、沢山の御供物を捧げて

御本尊様威光倍増の為、御

供養申し上げる法要です。

皆様の御志納を受け付

けておりますので、ご希望

の方は大本堂までお申し出

下さい。

尚、法要終了後に百味の

お札を授与致します。

毎月二十一日午前九時勤修

御志納金 一〇三千元以上



毎日の お護摩奉修時間

午前9時30分

// 11時00分

午後0時30分

// 2時00分

// 3時30分

ご講中・団体等
御相談下さい。

高尾山の昆虫

ダビドサナエ

188

サナエトンボはトンボ目に属する一群で、大型種を含むこともありヤンマ科に混同されがちで、実際コオニヤンマ、ウチワヤンマはサナエトンボ科でありながら大きな形状からヤンマという和名が付いています。

サナエトンボはカワトンボやムカシトンボと共に最も早く出現するトンボの一つで、今回取り上げたダビドサナエ(ダビド早苗蜻蛉)は一番ポピュラーな種で、四月下旬から七月初旬まで見られます。

この人名を冠する和名の由来は、十九世紀のフランスの生物学者ダビドに献名したもので、欧米風な名前とは裏腹に日本特産種になります。

胸部の側面に明瞭な黒い筋が入るのが特徴で、オスは尾の末端が膨らみ、古代の翼竜を思わせるフォルムをしていてなかなか見栄えがいいですが、メスはオスに比べ太く、寸胴な感じで区別は容易です。

本種は二年一化と呼ばれるサイクルで育ち、幼虫(ヤゴ)で越冬し、成虫になるまで2年かかります。高尾山でも渓流の付近で普通に見られ、よく似たクロサナエと共に初夏を彩る美しいトンボです。

(文松島 孝 撮影上村 雅昭)



高尾山報助成金

御志納のお願い

当山では、大護摩修行等により御縁を結ばれた御信徒様に高尾山報をご送付しております。

引き続きでご愛読して頂けますよう、皆様方の助成金御志納をお願い申し上げます。



下記のQRコード
から高尾山薬王院
のホームページに
アクセスできます



高尾山薬王院ホームページ
<https://www.takaosan.or.jp>

発行所
東京都八王子市高尾町2177
大本山
高尾山薬王院
郵便番号 193-8686
電話(042)-661-1115(代)
FAX(042)-664-1199
発行人 犬山秀康
編集人 菅井倫浩
印刷 ヒラツカ印刷社
毎月1回1日発行
1部50円